

1. 火災事故名： 東京永田町 ホテルニュージャパン火災

2. 火災発生日時：1982/2/28 午前3時半頃

3. 火災の発生状況：

午前3時24分頃、ホテルニュージャパン（地上10階地下2階鉄筋コンクリート造、1979年に古いホテルが買収され、リニューアルされたもの）から、出火した。火元は9階と10階付近で、4,186m²焼失した。宿泊者を中心に33名死亡、負傷者34名の大惨事となった。出火の原因は、9階の938号室の宿泊客が酔っ払って寝タバコし、毛布に火が燃え移り、展延したと推定。この火災は、当時の横井社長がまったく防災に関心がなく、消防署の指導も何回も無視していた。例えば、スプリンクラーを設置せず、ダミーを取り付けていたこと、防火扉の無設置、内装材の不燃化を怠ったこと、避難梯子もない等が挙げられた。当時建築研究所では様々な再現実験が行われた。

4. 犠牲者： 死者33名 負傷者34名

5. 火災の原因： 宿泊客の寝タバコ

6. 火災の写真：



7. 詳細報告書：消防庁検討部会 消防防災博物館 火災事例